**JA仙台　稲作情報　第5号**

　異例高温が続いている影響で、水稲の生育が前進しておりひとめぼれでは減数分裂期となり間もなく出穂期となる圃場が多く見受けられます。既に日当たりの良好なところ又は風の当たりにくいところでは出穂を迎えております。県内のひとめぼれ出穂予想は７月28日頃です。

**1）生育調査結果（宮城県7/18現在、JA7/22現在）**(　)　内平年比較値

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 地点 | 品種 | 田植日 | 葉色（GM値） | 幼穂長（㎜） | 調査機関 |  |
|
| 仙台市 | ひとめぼれ | 5/22 | 34.8（1.6） | 9.8 | 仙台農改 |
| 5/12 | 32.6（1.6） | 18.5 | JA独自調査 |
| 名取市 | 5/18 | 40.9（2.7） | 20.4 | 亘理農改 |
| 5/4 | 29.1（2.1） | 19.0 | JA独自調査 |  |
| 亘理町 | 5/11 | 35.0（2.7） | 16.0 | JA独自調査 |  |
| 山元町 | 5/18 | 41.3（-0.7） | 21.8 | 亘理農改 |  |
| 岩沼市 | つや姫 | 5/15 | 34.4（-3.5） | 4.8 | 亘理農改 |  |
| 亘理町 | だて正夢 | 5/7 | 33.3（-5.1） | 51.7 | 亘理農改 |  |

**2）今後の栽培管理**

〇減数分裂期に追肥する場合は葉色の観察を行い適量の施肥を行いましょう。

出穂前後のN成分の追肥は過剰な節間伸長を助長し倒伏の原因となるので適期適量の追肥を検討してください。

表2　葉色の目安（葉色板値）と追肥成分量　　　参考：幼穂長30～120㎜、出穂15～10日前

|  |  |
| --- | --- |
| 品種 | 減数分裂期 |
| ひとめぼれ | ３５～３７ | 1.0kg |
| ササニシキ | ３２～３４ | 1.0kg～1.5kg |
| まなむすめ | ３６～３８ | ― |

〇倒伏対策

台風襲来のシーズンとなり倒伏が懸念されます。出穂と同時に節間伸長する関係で倒伏に弱くなる時期ですので葉色が濃く倒伏の恐れがある場合は倒伏軽減剤の施用を検討してください。

倒伏軽減剤一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 品名 | 施用時期 | 10aあたり使用料 |
| スマレクト粒剤 | 出穂７日～２０日前 | 2～3㎏ |
| ビビフル粉剤 | 出穂５日～１０日前 | 3～4㎏ |

〇水管理

出穂前後では最も水が必要となる時期ですので水管理については間断潅漑による浅水管理とし登熟期には飽水管理を継続して田面の乾燥防止と温度上昇を抑制しましょう。

〇病害虫防除

・いもち病は平年並みの予想で６月２６日に発生好適条件となりましたが、管内ではまだ確認されておりません。

・紋枯病は平年よりやや多い予想です。前年発生した圃場では今年も発病の恐れがありますので、薬剤による防除を検討してください。（バリダシン粉剤DL、モンガリット粒剤等）

・斑点米カメムシについては宮城県全域で注意報が発表されております。今後警報になるおそれがあります。水田畦畔のイネ科雑草、水田内のホタルイ・イヌビエ等に産卵し生息していますので圃場をよく巡回して斑点米カメムシの早期発見と適期防除の実施をお願いします。

薬剤による補完的防除をする場合は、穂揃期とその７日後であわせて２回散布するのが効果的です。

（スタークル剤、ダントツ剤、キラップ剤等ですがその使用方法種類についてはＪＡにお問い合わせください。）